

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 5842 6031 FAX：03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年11月12日 No.14 NPTまであと172日

被爆地
長崎で

50周年記念ミサで神父様が署名を紹介



浦上教会で 166 筆

11月8日 カトリック浦上教会で署名にとりくみました。午前9時から信者さんの協力を得て準備開始、9時30分～10時30分の「ミサ」終了を待って署名を呼びかけると、166人から寄せられました。行動には浦上9条の会、新婦人、原水協事務局から9人が参加しました。

この日は、浦上教会が木造から現在の建物へ再建立されて50周年の記念日と重なり、特別のミサ、そしてミサの最後に神父様から署名の紹介をいただくという記念すべき日となりました。また、たくさんの募金も集まりました。

団体訪問で署名用紙 100 枚、50 枚と預かってもらう

11月6日(金)午後、寺院、教会など団体訪問の統一行動をおこないました。13時 県労連集合、簡単な打ち合わせの後、7人が3組に分かれて約2時間行動しました。

訪問したのは、寺院、教会(カトリック、PL、天理教)神社など13箇所でした。どこでも温かい対応をしていただきました。署名用紙100枚、50枚と預かる場所、「何時いつ集会があるので、そこで呼び掛ける」などビックリするほどの対応でした。参加者からは「反応がよくて、こちらが元気をもらった」などの感想が寄せられています。次回は13日(金)13:00～15:00 県労連に集合して行きます。

推進チームで協議かさね目標の1.5倍に 和歌山

和歌山県原水協は10万筆の署名と10人を目標とした「代表派遣」の達成のためには加盟団体の知恵を集めなければと準備を重ね、第1回推進チーム委員会を10月28日に開いて協議を重ねた結果、目標の1.5倍の15名(県地評5 和教組1、和高教1、自治労連2、他1、新婦人1、民医連3、青年2、和市原水協1、県原水協2、個人1)を和歌山県原水協代表団として派遣することを確認して、仮申し込みを行いました。白井県原水協事務局長は、「オバマ影響など情勢の変化と、集まって相談の場をもった成果です。」と話しています。

代表団の一人、川野友恵さんは、「ニューヨークへの要請行動に私が参加させてもらえることの意味をしっかりと捉え、たくさんのことを学び、感じとって、これからの活動に活かしていきたいと思っています。核兵器はすべての生き物と共存できません。だから核兵器を一刻も早くなくしたい。この強い気持ちを持ってニューヨークに行かせていただきたいと思っています。」と決意を語っています。

11月5日から13日まで、和歌山市主催の「原爆展」も開催されるなど、この間の原水協を中心とした地道なとり組みが実を結び、世論が変化しています。

県原水協では、一人35万円目標の代表派遣カンパと、10万筆の署名達成のためには、みんなが集まり作戦会議を持ち、組織的な活動することだとして推進チーム委員会を通じた取り組みの具体化や地域ぐるみ、自治体ぐるみの署名推進みを一つでも実現したいととり組みがすすめられています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。

「平和と憲法を守る 10・24 署名宣伝行動」 生協労連大阪府連



大阪府連では、10月24日(土)大阪城公園で、平和と憲法を守るために「核兵器廃絶」「憲法守れ、生かせ」を世論の圧倒的多数とするとりくみの一環として、署名宣伝行動を行いました。

いずみ・パルコープ・よどがわ・大学大阪事業連合のなかま 54人が参加し、人通りは少なかったのですが、積極的に声をかけ、宣伝ティッシュ 2000 個を配り、「核



兵器廃絶」156 筆、「憲法 9 条」147 筆を集めました。

NPT 青年派遣カンパ(1人分)1夜で集まる 東京・杉並

署名5万筆、カンパ100万円を目標にとりくんでいる「NPTに向けた杉並青年会議」(GO!GO!NPT)は11月5日、杉並公会堂で開かれた09杉並・憲法の夕べ「平和で人間らしく生きるために!」の中で、小森陽一さん(東京大学大学院総合文化研究科教授、9条の会事務局長)とトークセッション「私たちはめざします!核兵器のない世界を」を行いました。



杉並区内でさまざまな平和活動を行っている青年たちが活動を始めたきっかけや活動内容を紹介しました。区内で造園業を営む佐藤正明さんは「毎日お客さんの庭で木を切っていると世界のことはわからないが、ニューヨークに集まった同世代の青年たちと一緒に世界を変えられるか感じてきたい」とNPTにむけて決意を語り、署名とカンパへの協力を訴えました。

会場いっぱい910人の参加者から署名191筆、29万3822円のカンパが寄せられ、1人分の旅行費用に届きました。ニューヨーク派遣カンパのために販売しているオリジナル9条Tシャツも60枚以上売れ、計41万円を超えました。

新婦人八戸支部が1000筆達成 青森

八戸原水爆禁止の会は11月6、9両日、核兵器のない世界を求める6・9署名行動を行いました。

6日は市内中心街の三春屋前で7人が行動し、42筆の署名が集まりました。午後5時半からなので人通りは少なかったものの、女子高校生が多く署名していました。9日は、コープあおもりいけ店前で5人が参加して行動し、50筆の署名が集まりました。1000筆の目標にあと20筆と迫っていた新婦人八戸支部は用紙を持参、意気込んでの参加でした。30分程度で20筆を達成し、最終的には42筆に。

コープあおもりいけ店では、階段の壁に「原爆と人間」のパネルを常時掲示しています。中心街での活動に比べて署名数が多いのは、そうしたことも反映しています。2日間の署名数は92筆でした。

感謝の手紙とともに全国共通チラシの署名とどく 秋田
秋田市の聖霊修道院から、署名された全国共通チラシが日本原水協事務局宛に郵送されてきました。同封されていた手紙には、「所用で駅を通りぬけたとき、いただきました。帰りまして見せて頂き、このような事に感謝も表わさないうで通りすぎたことをおわびいたします。本当に心から感謝いたします。祈りをこめて」と綴られていました。

NPT 日本原水協代表団仮申し込み

明日が締め切りです!

名前は確定していなくても、希望コースだけでもお知らせください。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。